



図書館の本を使って、三商校歌の 作詞・作曲者について調べました！

作曲者の山田耕作(やまだこうさく)(1886~1965)さんは日本における西洋音楽黎明期を代表する作曲家です。皆さんも「赤とんぼ」(三木露風作詩)や「この道」「ペチカ」(北原白秋作詩)は耳にしたことがあるのではないのでしょうか。

彼は日本やドイツで音楽を学び、洋楽と詩や演劇を結びつけるなど音楽界をリードしました。上記のような歌曲を含め生涯にわたり数多くの作品を残しています。「この道 山田耕作伝記」の作品目録には三商の校歌も“府立第三商業学校々歌”として収録されています。

「学校要覧」“本校の沿革”によると、校歌が制定されたのは昭和8(1933)年3月。この年、山田さんは当時のソ連に招かれます。そこで見た歌劇に刺激を受けて帰国後「金曜会」を創り、新しい演劇の様式を模索していくことになります。

その頃の世界は世界恐慌、日本の国際連盟脱退、ナチス政権の誕生などが起こり、不安定な情勢であったようです。

作詞者の前田夕暮(まえだゆうぐれ)(1883~1951)さんは著名な歌人です。明治43年に第一歌集「収穫」を刊行し、自然主義(現実をあるがままに写しとるスタイル)の短歌で若山牧水(わかやまぼくすい)とともに新しい道を切り開きました。

自由律短歌に傾倒するなど作風を変化させ続け、途中父親の跡を継いで山林事業に専念しつつも生涯を通じて歌を詠みました。

校歌が制定されたころの前田さんは、昭和7(1932)年にはじめての自由律歌集「水源地帯」を発行しています。

雪のうへに空がうつりてうす青しわがかなしみぞしづかに燃ゆるなる
大正2(1913)年作。歌集「生きる日に」

参考文献:「この道 山田耕作伝記」社団法人日本楽劇協会編 恵雅堂出版、「山田耕作作品資料目録」遠山音楽財団付属図書館、「学校要覧 令和6年度」東京都立第三商業高等学校、「エリア別だから流れがわかる世界史」祝田秀全監修 朝日新聞出版、「早わかり世界史」宮崎正勝著 日本実業出版社、「近現代詩歌」池沢夏樹編 河出書房新社、「近代歌人 短歌シリーズ人と作品 21」本林勝夫著 桜楓社、「日本の詩歌 7」中央公論社



おう、図書館のだんな。
最近、いいネタ(本)入ったかい？



へい！こんなのはいかがでございましょう。

「いけない」道尾秀介著 文藝春秋 913.6-ミ

各章の最後のページをめくるとそこには地図や写真が。それを見れば真相がわかる、凝ったミステリー好きにおすすめの1冊！

「ゆびさきに魔法」三浦しをん著 文藝春秋 913.6-ミ

ネイルサロンを営む主人公が客や従業員との交流を通して成長していく、心温まるストーリーです！

「放課後によむ詩集」小池昌代編 理論社 908-ホ

詩をゆっくりと読む。そんな時間を作ってみると、気分がいいです。お試しあれ。

「暮らしと物価の地政学」小山堅監修 ナツメ社 333-ク

最近の熱い話題、それは“物価”!! 物価に影響を及ぼす貿易や国際情勢などについて解説しています。



三商生が羨ましい…



井伊直弼

やるもんだねえ。
どれじゃあ一つ借りようか。



※ 江戸時代には貸本屋という商売がありました
参照:「図書館のすべてがわかる本 1」秋田喜代美監修
こどもくらぶ編 岩崎書店

Library Topic 友成哲郎先生の個展「Pageant」訪問

芸術科(全日制)で教務を取られている友成先生の個展が、麻布十番の画廊「FIRST GALLERY TOKYO」で開催され、その作品に出会ってきました。ユーモアと色彩と癒しの作品群がギャラリーにあふれていて、こころ和むひと時でした。

ギャラリー入り口



(撮影：川西)

ギャラリー開催(終了)
2025.1/10(fri)~2/2(sun)
麻布十番の画廊
「FIRST GALLERY TOKYO」

三商図書館おすすめの本 「アートルーの事件簿」島田真琴著 706-シ



対話形式で現代アートを
わかりやすく解説!

「基礎から学べる現代アート」
亀井博司著 晶文社 702-カ

美術を仕事にしたいと思ったら
まずこの1冊。

「美術の進路相談」イトウハジメ著
ポプラ社 720-イ

街角アートを探してみよう!

「パブリックアート入門」浦島茂世著
イースト・プレス 702-ウ

第172回(2024年下半期) 芥川賞・直木賞受賞作が決定しました!

芥川賞

- ・安堂ホセ「D'TOPIA (デートピア)」
小説の舞台は恋愛リアリティーショー。世界各国10人の参加者たちがミスユニバースを巡って争いながら、ジェンダーや社会問題に直面する物語です。
- ・鈴木結生「ゲートはすべてを言った」
物語の主人公は詩人ゲートの学者。ある日紅茶のティーバッグに知らなかった名言を見つけ、出典を探しながら自身の研究生生活を振り返っていきます。

直木賞

- ・伊与原新「藍を継ぐ海」
ウミガメの卵を孵化させようとする中学生や、長崎の空き家で原爆の遺物を見つけた青年を描いた短編集です。自然や科学を通して今を生きる人々の姿をとらえています。

2月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

※開館スケジュールは変更される場合があります

- 8:35 ~ 21:30
- 8:35 ~ 16:45
- 13:35 ~ 21:30
- 閉館

★★ LibFinder を活用しましょう! ★★

右のQRコードを読み込んでアクセスしパスワードを入力すれば、新着図書をチェックしたり開館スケジュールを確認したりできます。

パスワード: sanshou

